

あすなる

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47-02.web.infoseek.co.jp



沖電気の歴史
昭和20年(1945年)通信機だけでは、全従業員の生活と雇用の確保は難しく、品川工場では真空管・4球のラジオやアイロンなどを製造、芝浦工場では目覚まし時計、福島工場ではラジオや電気ストーブなどを手がけたが、官に依存した体質の沖電気は民需分野の開拓は販売ルートもなく成功しなかった。以降、沖電気の経営は常に官依存からの転換が試練となる。

沖電気工業 川崎秀一社長 就任の言葉(09年6月)が実感できますか?

「社員は自信と誇りを持ってほしい。OKIは社会にとって必要で役に立つ企業だ」

沖電気の経営に求められるもの

今、電機産業はグローバル経営の中で、産業構造の変化と激烈な競争にあります。製品のデジタル化・モジュール化で、一社で企画・開発・設計・製造をしなくても開発・製造が可能になりました。又、プロセス技術の海外流出で、製造技術だけでは優位に立てないなど電機産業の劇的な構造変化が起きています。

こうした変化に対してOKIのこの10年どういう対応をしてきたのか。経営危機になれば、目先の利益追求が最優先になり、10年、20年先を見据えた経営がされてきませんでした。「一等商品」の創出を掲げながら、研究・開発部門の縮小、技術と技術者の分散化が進められ、ものづくりが軽視されてきました。更に成果主義でチームワークが弱体化し、集団としての力が衰退してきました。

これらの反省にたつて抜本的な経営戦略の転換が求められています。しかし発表された中期計画(2010~12年)の基本的な考え方は「売上拡大に依存せず、確実に利益を上げる事業構造を構築。全体最適の視点でコスト削減施策を実施する」であり、この考え方からは再生の展望は見えてきません。

「いかにつくるかではなく、何をつくるか」

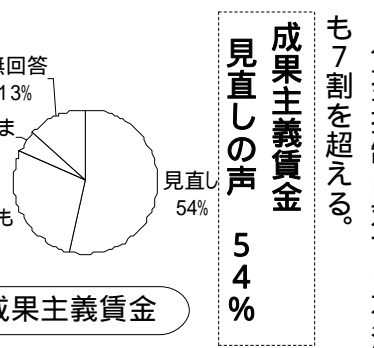
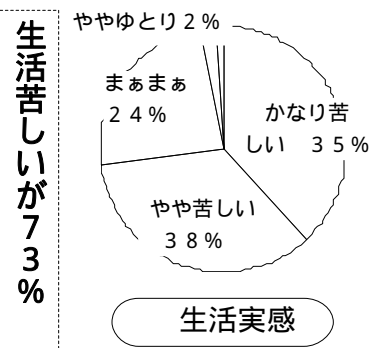
が勝負の世界になっています。そのためには新商品(ヒット商品)を生み出す開発・技術力の再構築と、それを可能にする職場環境づくり、OKIも登録した国連のグローバル・コンパクト(参照)を確実に実行して「人間らしい働き方」を実現していくことなどイノベーション(変革)が求められています。

グローバル・コンパクト:

2000年に国連で発足した企業・団体の社会的責任(CSR)活動。現在138カ国、約8千の企業・団体が参加。人権、労働、環境、腐敗防止の4部門で10の基本原則を設けている。例:原則1.人権の擁護 原則6.雇用と職業に関する差別の撤廃。原則9.環境にやさしい技術の開発と普及。



今年の春闘に向けての当会のアンケートでは7割超の人が生活苦を訴えている。



希望の持てる働き方の再構築こそがOKIと社会の再生を促す

賃金抑制に対する不満も7割を超える。成果主義賃金見直しの声54%

この十数年来「創業以来最大級の危機」の名のもと、賃金カットを始め、労働条件は切り下げられ続けました。長時間過密労働で精神的に病み、自殺に追い込まれるような深刻な事態に、他人事ではないというのが職場の実態です。現状に対する不満と将来に対する不安が渦巻いています。

こうした事態にも労働組合は「企業利益優先」の会社施策に理解を示すばかりで、組合員の切実な声を施策に反映させる力が弱い。例えばメンタルヘルスに対する対策を強めること。非正規社員を正社員にする。年次有給休暇や男性の育児休暇などの取得が可能な環境をつくること。海外移転の際には国内雇用対策をすること。女性社員の処遇を改善すること。研究開発費や役員報酬などお金の監視をすること。これら具体化による働き方の改善がOKIの再構築には必要です。

大宮から二ノ宮、シャトルに乗り、一つ目の駅「大成道博物館駅」(大成駅)に着く。改札を出たあたりから鉄道関係の展示物が転々とあり、歩く方向は間違えない。やつと来れたうれしさにどきどきしながら入場チケットを買った。1936年4月に開館した東京・万世橋前にあった交通博物館を2004年2月、さいたま市へ移転。09年10月で入館者数300万人という。館全体の2分の1を占める鉄道車両などの展示は、明治から現代までの様々な車体があり、昨年から通称「だんごっ鼻」の0系新幹線も先頭部分だけ見ることが出来る。時代の雰囲気を出すためにマネキンが置かれていたりするのだが、オレンジ色の国鉄初の通勤電車の車両にも寝ている姿があったので、ふざけて「お客さん、終点ですよ」と声をかけたら本当の「人」だつたのでびっくり。懐かしさ、そのまま寝てしまったようだ。かつての食堂車の代名詞「旅のレストラン」の名前も「なつかしの駅ナボリタン」を食べる。窓の外には高崎線、宇都宮線が走り、鉄道が大好きな人には幸せなところだろう。57蒸気機関車が360度回転し、汽笛を鳴らす場面もある。壮大な景色の中、これぞ時代の流れかと目が熱くなった。(M)

2000年3月～2009年3月 特別損益の内訳										合計
固定資産		有価証券		為替損益		棚卸し	事業再編+	その他		
売却益	売却損	売却益	評価損	利益	損失	評価損	特別退職金			(億円)
333	228	405	341	70	114	224	445			損551
益105		益64		損44		損224	損445	損7		

特別損益
 00年～09年連結決算の積算
特別損失551億円

合理化費用
 赤字の71%

合理化費用と呼ばれる「棚卸し損」と事業再編+特別退職金の合計は669億円。この間の連結決算の純損失額の937億円に占める割合は71%に達する。赤字合理化赤字合理化の連続であったことを示す数字です。

合理化費用と呼ばれる「棚卸し損」と事業再編+特別退職金の合計は669億円。この間の連結決算の純損失額の937億円に占める割合は71%に達する。赤字合理化赤字合理化の連続であったことを示す数字です。

芝浦・小金井などの売却益。損では住宅の減損など。為替損益。棚卸し評価損。在庫品などの償却や評価変動。事業再編。構造改革や組織の変動による影響。特別退職金。退職金の割増など。その他。災害損失など。



上段右から2人目

国連(ニューヨーク) 5年に一度の会議

5月2日の「核兵器のない世界のための国際行動」などの行動に参加し、核兵器廃絶の願いを、国連のNPT再検討会議に届けてきました。

2日、マンハッタン地区のタイムズスクエアは、夏のような

核不拡散条約(NPT)再検討会議

訪米報告 廣瀬邦治さん 沖電気キャリア事業本部OB

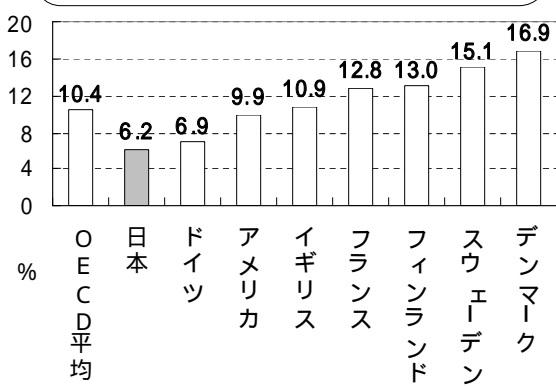
NPTとは 70年3月に発効した核不拡散条約の英語の略称(Nuclear Non-Proliferation Treaty)。核保有の米・ソ・英・仏・中)以外の国への「不拡散」「核保有国の軍縮努力」「原子力の平和利用」が3基本方針。190カ国が加盟

各国からの参加者で埋め尽くされ、集会和パレードが行われました。集会では秋葉広島市長、田上長崎市長、広島被爆者、各国の反核平和活動

ロシア	約13,000
米国	約9,400
フランス	>300
中国	約240
英国	約185
イスラエル	約80
パキスタン	70~90
インド	60~80
北朝鮮	<10
合計	約23,375

FAS Status of World Nuclear 09.10.2

公務員人件費の対GDP比 07年



日本は公務員の人件費が多すぎるとは言えないのよ!



家が次々に核廃絶を訴えました。国連本部までのパレードでは、沿道のニューヨーク市民が手を振って応援、折鶴や絵手紙などを受け取ってくれました。国連本部のあるハマーシールド広場には、日本からの690万筆の核廃絶署名が積み上げられ、NPT再検討会議に提出されました。国連会議で「核兵器廃絶に向けた国際合意」に踏み出すことを願いながら米国での7日間行動を終えました。

賃下げは ちよつと戻ったけれど
 【福島・OEFプロテック】
 「赤字決算解消」のためにと、昨年10月から賃金が10%下げられ、年末一時金はゼロ支給になっていました。
 10春闘は、導入時の約束通り10%の賃下げは止められ元の賃金に復活し、夏期一時金は0.5ヶ月分支給という内容で決着しました。
 赤字は解消されておらず、賃下げは何だったの?」「経営陣の経営方針に疑問」などの声も多い。OKIの「連結企業再編構想」にも不安が拡大するばかりです。

不満! 同じ仕事でも 労働条件に格差
 【非正規社員】
 沖電気で働く派遣社員や契約社員は年次有給休暇の取得も困難なうえ、退職金などの処遇も正規社員と大きな格差があります。年収は250万円程度で雇用不安を抱えて生活しています。沖電気労働組合の委員長は「非正規労働者のみなさんが抱えている雇用不安や収入の格差の問題は決して正規社員とまったく無関係のところでは起きていない」として今年の春闘で契約社員の正規社員化を会社に要求したが、会社の回答はゼロでした。
 諸外国並みに同一労働、同一賃金、正規社員があたりまえの日本を望みます。

また派遣社員で 「生産調整」か
 【群馬・富岡】
 今年度、富岡工場は大忙しです。工場の稼働工数を超える生産量が予定されており、今後新たに二台の大型自動機が導入され、工場のパワーアップが図られます。また残業・休日出勤と併せて派遣社員を採用しています。これまで採用された派遣社員の中には、昨年「派遣切り」された方もいます。
 「当面は安泰だな。でもいつまで続くか・・・」派遣社員には昨年の「派遣切り」不安が付きまといまふ。今、国会では「製造業への派遣は原則禁止」を前提にした議論がされています。正社員と同じ仕事をしながら、低い労働条件で「生産の調整弁」として使われている派遣社員。沖電気の労使には「直接雇用化」が求められています。

お客様にあつたら元氣良く挨拶を・・・と朝礼で管理職から事あるごとにいわれている。
 でも良く見ていると、管理職から率先して日常の挨拶をしている人が少ないのはどうしたことか。

八王子地区で 事業活動の継続を
 【OKIセミコンダクタ】
 1961年(昭和36年)に市の誘致企業として開設した沖電気の電子デバイス事業所は08年10月にROIに858億円(OKIの収入純額794億円)で売却されました。
 地元・八王子地区での事業活動の継続を求める市民ぐるみの「OKIセミコンダクタの仲間と連帯する会」(会長・東京地評伊藤・事務局長)も結成され、ROI、OKIセミコンダクタ、八王子市などへ要請行動も続けられています。
 しかし、売却時は全体で約5500人の従業員数は2300人程度に減らされ区も激減、グループ企業を含め約8割減少の500人程度になっています。

新人の元氣な挨拶 気持ちいいです。
 【埼玉・本庄】
 新入社員教育でも挨拶運動が徹底され、毎朝あった人誰に対してもピツクリするほど大きな声で、「おはようございます」と挨拶。とても新鮮で気持ちがいい。挨拶はいい人間関係をつくる基本ということが良くわかる。

若者の失業率10%超
 【話題】
 4月、沖電気には57人の新入社員。しかし日本全体では学卒未就職者が21万余。15歳～24歳の男性の完全失業率は10.1%。全体では5.1%で356万人が仕事を獲得していない。有効求人倍率も0.48である。(総務省)

お客様にあつたら元氣良く挨拶を・・・と朝礼で管理職から事あるごとにいわれている。
 でも良く見ていると、管理職から率先して日常の挨拶をしている人が少ないのはどうしたことか。